

令和3年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

総務部
選挙管理委員会

款	項	目	大	事	業	ページ															
2	1	10	30	超	高	速	情	報	通	信	基	盤	設	備	管	理	費	1	-	1	
2	4	30	10	衆	議	院	議	員	総	選	挙	執	行	経	費	1	-	2			
2	4	41	10	秋	田	県	知	事	選	挙	執	行	経	費	1	-	3				
2	4	50	10	大	仙	市	議	会	議	員	一	般	選	挙	執	行	経	費	1	-	4
2	4	51	10	大	仙	市	長	選	挙	執	行	経	費	1	-	5					
9	1	2	12	消	防	施	設	・	設	備	整	備	費	1	-	6					
9	1	4	11	水	害	対	策	費	1	-	7										
9	1	5	10	防	災	対	策	費	1	-	8										

事 業 説 明 書

2 款 1 項 10 目 30 事業

(施策の大綱) 地域情報化の推進

(施策) 情報通信基盤の整備

(基本事業) インターネット環境等の整備

継続

課所名： 総務部 財産活用課

『事業名』 **超高速情報通信基盤設備管理費**

【R3年度】 75,642 千円 【R2年度】 94,497 千円 【増減額】 △ 18,855 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			62,801	12,841

※大仙市光ファイバ網使用料 44,100

※光伝送路工事費補償金 18,701

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

光ブロードバンド（高速、大容量）サービス提供のため、IRU契約によりNTT東日本に貸し出している光ファイバ通信網について、サービス利用者（市民や市内業者）が安定して利用できるように設備の維持管理を行う。

《※IRU契約とは、設置者（所有者＝大仙市）と利用者（NTT東日本）の双方の合意が無い限り、一方から契約を破棄することが出来ない契約》

- 目標：施設整備から10年が経過し、エリア内の光ブロードバンドサービス利用率も一定の割合を確保することができたことから、今後は情報通信基盤の効率的な管理運営を進めるため、所有設備について民間事業者へ譲渡し、市の財政負担を軽減することを目標とする。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・H23. 3.1 市が整備した地域でサービス開始。
- ・H23. 11.1 NTT東日本が整備した地域もサービスを開始し、大仙市全域で光ブロードバンドサービスを享受出来るようになった。
- ・R3. 3.31 NTTとのIRU契約が満了。
※R3の契約延伸に伴い光ファイバ使用料増額をNTTに求め、特定財源確保に努めている。

○利用率の推移

区分 \ 年度	H23. 3. 31	H28. 3. 31	H29. 3. 31	H30. 3. 31	H31. 3. 31	R2. 3. 31	秋田県平均	全国平均
対象世帯数(件)	12,035	11,912	11,855	11,806	11,768	11,751	-	-
加入世帯数(件)	1,880	5,251	5,500	5,751	5,953	6,149	-	-
利用率	15.6%	44.1%	46.4%	48.7%	50.6%	52.3%	52.1%	55.9%

3. Check (評価：問題と課題)

【IRU契約と設備譲渡】

- ・NTTが市に支払う光ファイバ網使用料には支障移転工事費が含まれていないため、この経費が高むことにより市の負担が増える。
- ・将来的な設備の譲渡に向けNTTが有利となる条件が示されることが見込まれる。

【支障移転工事】

- ・国や県の道路改良工事、県の災害復旧・圃場整備等に伴うケーブル移設の件数や規模が増大傾向にある。さらに東北電力とNTTの自社都合による大規模なケーブル移設や、住宅新築時等に発生する支障箇所解消のためのケーブル移設もあることから、工事費が増加している。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

【今後の方向性】

- ・将来的に当該設備をNTTへ譲渡する方向で進めているが、譲渡に必要な条件整理に数年かかることから、来年度はIRU契約の延伸をNTTが望んでおり、延伸する契約内容について交渉を行っている。
- ・NTTから示される設備譲渡の条件について、市の負担が必要最低限になるよう交渉を継続的に行っていく。

【R3年度事業の概要】

NTT東日本に貸し出している光ファイバ通信網について、設備の維持管理を行う。

○維持管理地域

大曲地域：NTT内小友・角間川局管内、西仙北地域：NTT刈和野局管内の一部を除く地域、
中仙地域：NTT豊川局管内、協和地域：全域、南外地域：全域、仙北地域：全域、太田地域：全域

○維持管理内容

- ・光ファイバケーブル(約611km)の保守委託
- ・NTT柱や電力柱(約14,400本)の添架料、NTTビル(9局分)への接続賃借料、ケーブル移設に伴う工事等費用、災害保険料 他

○R3工事予定

- ・国 河川改修に伴う移設（切断1件） 2,242,902円（補償金 1,589,060円）
- ・県 河川改修に伴う移設（切断2件、NTT共同施工負担金1件） 26,323,578円（補償金17,112,480円） ほか

事 業 説 明 書

2 款 4 項 30 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

新規

課所名：選挙管理委員会事務局

『事業名』 衆議院議員総選挙執行経費

【R3年度】 47,824 千円 【R2年度】 0 千円 【増減額】 47,824 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	47,824			0

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

解散又は令和3年10月21日任期満了に伴う衆議院議員総選挙の管理執行を行うもの。
 秋田県第3区衆議院小選挙区選出議員選挙における立候補者及び比例代表選出議員選挙における届出政党について、大仙市開票区の得票数を確定させるとともに、最高裁判所裁判官国民審査における審査票を併せて確定させる。
 目標投票率：60% (小選挙区)

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移 (小選挙区)】

	H17.9執行	H21.8執行	H24.12執行	H26.12執行	H29.10執行
当日有権者数 (人)	79,555	77,517	75,403	73,924	72,566
投票者数 (人)	61,203	58,769	49,809	43,133	45,527
投票率 (%)	76.93	75.81	66.06	58.35	62.74

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- 各選挙における投票率が低下傾向にあり、特に若年層において他の年代と比べて低水準であることから、高等学校での出前講座などの啓発事業を行っているが、投票率向上には繋がっていない。
- 新型コロナウイルス感染症が完全収束しないなかでの執行が見込まれ、投票所における感染拡大防止対策と、事務従事者が感染した場合でも業務継続できる体制の整備が必要となる。
- 事務従事者の入れ替わりにより管理執行における問題が生じないよう、実務の確実な引継と職員の育成が課題である。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

- ◎ 高等学校での出前講座、成人式の啓発を継続しながら、より早くから選挙を身近に感じられるように、中学生に対する主権者教育リーフレットや啓発物品の配布する。
- ◎ 令和2年度に策定した「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン (大仙市版)」を全市に周知徹底し、感染リスク回避のみならず、事務従事者に感染者が発生しても事務を継続できる職員配置を迅速に行う。
- ◎ これまでの選挙で得られた問題点等を検証するとともに事務マニュアルの再点検を行い、全ての事務従事者に対してマニュアルの周知および遵守を徹底し、より正確かつ迅速な執行を行う。
 - ◇公 示 日：未定
 - ◇期日前投票：公示日の翌日から11日間
 - ◇投 票 日：公示日の12日後 午前7時～午後7時 市内67ヶ所
 - ◇開 票：投票日同日 午後8時30分～ 大曲体育館

※令和2年12月1日定時登録者数 男：32,336人 女：37,286人 計：69,622人

項 目	予算額 (千円)	主な使途内容
投票所経費	17,664	管理者・立会人報酬、投票所借上料、投票箱送致タクシー代、事務従事者時間外手当等
期日前投票所経費	8,197	管理者・立会人報酬、会計年度任用職員報酬、事務従事者時間外手当等
開票所経費	2,221	開票管理者・立会人報酬、会場設置・撤去等業務委託、候補者ファイル作成、事務従事者時間外手当
ポスター掲示場費	7,840	掲示板購入、掲示場設置・撤去・維持管理費用等
その他経費	11,902	選挙公報発行費、候補者氏名掲示費 (国民審査含)、演説会施設公営費、事務費
合 計	47,824	

事 業 説 明 書

2 款 4 項 41 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

継続

課所名：選挙管理委員会事務局

『事業名』 **秋田県知事選挙執行経費**

【R3年度】 **26,787** 千円 【R2年度】 **33,903** 千円 【増減額】 **△ 7,116** 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	26,787			0

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

令和3年4月19日の任期満了に伴う秋田県知事選挙の管理執行を行うことを目的に、同選挙における立候補者について、大仙市開票区における得票数を確定させるための執行経費。

※目標投票率 70%

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移】

	H17.4執行	H21.4執行	H25.4執行	H29.4執行
当日有権者数(人)	79,041	77,118	無投票	72,331
投票者数(人)	61,907	49,090		47,037
投票率(%)	78.32	63.66		65.03

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- 各選挙における投票率が低下傾向にあり、特に若年層において他の年代と比べて低水準であることから、高等学校での出前講座などの啓発事業を行っているが、投票率向上には繋がっていない。
- 新型コロナウイルス感染症が完全収束しないなかでの執行が見込まれ、投票所における感染拡大防止対策と、事務従事者が感染した場合でも業務継続できる体制の整備が必要となる。
- 事務従事者の入れ替わりにより管理執行における問題が生じないよう、実務の確実な引継と職員の育成が課題である。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

- ◎ 高等学校での出前講座、成人式の啓発を継続しながら、より早くから選挙を身近に感じられるように、中学生に対する主権者教育リーフレットや啓発物品の配布する。
- ◎ 令和2年度に策定した「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(大仙市版)」を全庁に周知徹底し、感染リスク回避のみならず、事務従事者に感染者が発生しても事務を継続できる職員配置を迅速に行う。
- ◎ これまでの選挙で得られた問題点等を検証するとともに事務マニュアルの再点検を行い、全ての事務従事者に対してマニュアルの周知および遵守を徹底し、より正確かつ迅速な執行を行う。

◇告示日：令和3年3月18日(木)

◇期日前投票：令和3年3月19日(金)～4月3日(土) 16日間

◇投票日：令和3年4月4日(日) 午前7時～午後7時 市内67ヶ所

◇開票：投票日同日 午後8時30分～ 大曲体育館

※令和2年12月1日定時登録者数 男：32,336人 女：37,286人 計：**69,622**人

項 目	予算額(千円)	主な用途内容
投票所経費	16,688	管理者・立会人報酬、投票所借上料、投票箱送致タクシー代、事務従事者時間外手当等
期日前投票所経費	3,361	管理者・立会人報酬、会計年度任用職員報酬、事務従事者時間外手当等
開票所経費	2,811	開票管理者・立会人報酬、会場設置・撤去等業務委託、候補者ファイル作成、事務従事者時間外手当
ポスター掲示場費	2,233	掲示場維持管理・撤去費用等、敷地提供者へ謝礼等
その他経費	1,694	演説会施設公営費、事務費
合 計	26,787	

事 業 説 明 書

2 款 4 項 50 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

新規

課所名：選挙管理委員会事務局

『事業名』 **大仙市議会議員一般選挙執行経費**

【R3年度】 **109,536 千円** 【R2年度】 **0 千円** 【増減額】 **109,536 千円**

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				109,536

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

令和3年9月30日の任期満了に伴う大仙市議会議員選挙の管理執行を行うことを目的に、同選挙における立候補者について得票数を確定させ、当選人を決定するための執行経費。

※目標投票率 70%

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移】

	H17.9執行	H21.9執行	H25.9執行	H29.4執行(補欠)	H29.9執行
当日有権者 (人)	79,239	77,165	74,376	72,272	72,285
投票者数 (人)	66,023	59,218	50,795	46,562	46,977
投票率 (%)	83.32	76.74	68.29	64.43	64.99

3. Check (評価：問題と課題)

- 市民にとって最も身近な選挙のひとつである本選挙においても、投票率は全国の動向と同様に低下傾向かつ若年層が低水準となっており、若年層の投票行動を促す新たな対策の検討が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症が完全収束しないなかでの執行が見込まれ、投票所における感染拡大防止対策と、事務従事者が感染した場合でも業務継続できる体制の整備が必要となる。
- 事務従事者の入れ替わりにより管理執行における問題が生じないよう、実務の確実な引継と職員の育成が課題である。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

- ◎ 高等学校での出前講座、成人式の啓発を継続しながら、より早くから選挙を身近に感じられるように、中学生に対する主権者教育リーフレットや啓発物品の配布する。
- ◎ 令和2年度に策定した「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（大仙市版）」を全市に周知徹底し、感染リスク回避のみならず、事務従事者に感染者が発生しても事務を継続できる職員配置を迅速に行う。
- ◎ これまでの選挙で得られた問題点等を検証するとともに事務マニュアルの再点検を行い、全ての事務従事者に対してマニュアルの周知および遵守を徹底し、より正確かつ迅速な執行を行う。

- ◇ 告 示 日：令和3年9月19日（日）
- ◇ 期日前投票：令和3年9月20日（月）～9月25日（土） 6日間
- ◇ 投 票 日：令和3年9月26日（日） 午前7時～午後7時 市内67ヶ所
- ◇ 開 票：投票日同日 午後8時30分～ 大曲体育館

※令和2年12月1日定時登録者数 男：32,336人 女：37,286人 計：69,622人

項 目	予算額 (千円)	主な用途内容
投票所経費	15,251	管理者・立会人報酬、事務従事者時間外手当、投票所借上料、投票箱送致タクシー代等
期日前投票所経費	8,630	管理者・立会人報酬、事務従事者時間外手当、会計年度任用職員報酬等
開票所経費	3,095	選挙長・立会人報酬、事務従事者時間外手当、投票用紙読取機候補者ファイル作成、開票会場設営撤去業務等
ポスター掲示場費	35,393	ポスター掲示板購入・設置・維持管理・撤去費用、敷地提供者へ謝礼等
公 費 負 担	33,554	選挙運動運転手賃金、燃料、ポスター印刷、ハガキ郵券代、自動車借上料等
そ の 他 経 費	13,613	選挙公報発行経費、候補者氏名掲示費、演説会公営費、事務費
合 計	109,536	

事 業 説 明 書

2 款 4 項 51 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

継続

課所名：選挙管理委員会事務局

『事業名』 大仙市長選挙執行経費

【R3年度】 31,871 千円 【R2年度】 12,595 千円 【増減額】 19,276 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				31,871

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

令和3年4月8日の任期満了に伴う大仙市長選挙の管理執行を行うことを目的に、同選挙における立候補者について得票数を確定させ、当選人を決定するための執行経費。

※目標投票率 70%

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移】

	H17.4執行	H21.4執行	H25.4執行	H29.4執行
当日有権者数(人)	79,013	無投票	無投票	72,272
投票者数(人)	61,768			46,603
投票率(%)	78.17			64.48

3. Check (評価：問題と課題)

- 市民にとって最も身近な選挙のひとつである本選挙においても、投票率は全国の動向と同様に低下傾向かつ若年層が低水準となっており、若年層の投票行動を促す新たな対策の検討が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症が完全収束しないなかでの執行が見込まれ、投票所における感染拡大防止対策と、事務従事者が感染した場合でも業務継続できる体制の整備が必要となる。
- 事務従事者の入れ替わりにより管理執行における問題が生じないよう、実務の確実な引継と職員の育成が課題である。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

- ◎ 高等学校での出前講座、成人式の啓発を継続しながら、より早くから選挙を身近に感じられるように、中学生に対する主権者教育リーフレットや啓発物品の配布する。
- ◎ 令和2年度に策定した「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(大仙市版)」を全市に周知徹底し、感染リスク回避のみならず、事務従事者に感染者が発生しても事務を継続できる職員配置を迅速に行う。
- ◎ これまでの選挙で得られた問題点等を検証するとともに事務マニュアルの再点検を行い、全ての事務従事者に対してマニュアルの周知および遵守を徹底し、より正確かつ迅速な執行を行う。

- ◇ 告示日：令和3年3月28日(日)
- ◇ 期日前投票：令和3年3月29日(月)～4月3日(土) 6日間
- ◇ 投票日：令和3年4月4日(日) 午前7時～午後7時 市内67ヶ所
- ◇ 開票：投票日同日 午後8時30分～ 大曲体育館

※令和2年12月1日定時登録者数 男：32,336人 女：37,286人 計：69,622人

項目	予算額(千円)	主な使途内容
投票所経費	16,688	管理者・立会人報酬、事務従事者時間外手当、投票所借上料、投票箱送致タクシー代等
期日前投票所経費	4,024	管理者・立会人報酬、事務従事者時間外手当、会計年度任用職員報酬等
開票所経費	2,811	選挙長・立会人報酬、事務従事者時間外手当、投票用紙読取機候補者ファイル作成、開票会場設営撤去業務等
ポスター掲示場費	1,433	ポスター掲示板購入・設置・維持管理・撤去費用、敷地提供者へ謝礼等
公費負担	5,693	選挙運動運転手賃金、燃料、ポスター印刷、ハガキ郵券代、自動車借上料等
その他経費	1,222	選挙公報発行経費、演説会公営費、事務費
合計	31,871	

事 業 説 明 書

9 款 1 項 2 目 12 事業

(施策の大綱) 安全・安心体制の充実

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 消防団員の確保と資機材等の充実

継続

課所名： 総務部 総合防災課

『事業名』 消防施設・設備整備費

【R3年度】 29,262 千円 【R2年度】 33,809 千円 【増減額】 △ 4,547 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		28,200	762	300

※公共施設適正管理基金繰入金

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市民の生命・財産を火災や災害から守り「災害に強いまちづくり」を目指すことを目的に、消防団が万全の体制で対応できるよう消防施設・資機材を更新・整備していく。また、大仙市消防団の再編により、余剰となった施設の整理を実施していく。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

年次計画により施設・資機材を更新し災害に備えている。また、消防団再編で余剰となった施設の解体や払い下げを行い、施設の整理を実施している。

積載車の更新計画

	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
更新台数	4台	4台	4台
所有台数	83台	83台	83台

消防団詰所・格納庫の整理状況

時期		詰所 (棟)	格納庫 (棟)
再編前 (H28.4.1)		25	155
R 2 年度棟数		24	98
整理済	解体	1	30
	譲渡	0	26
	用途変更	0	1
未整理棟数		0	9

3. C h e c k (評価：問題と課題)

消防団員が使用する資機材や設備、消防水利の老朽化が進んでいることから、引き続き点検やメンテナンス等を実施するとともに、資機材の更新計画に沿って設備の充実を図り、万全の体制を整えていく。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

◆積載車の適正更新と不要施設の整理

- ・老朽化した積載車4台の更新を実施。今後も年次計画に添って適正時期に更新を行う。
- ・消防団の再編で分団統廃合に伴い余剰となった格納庫の解体や整理を実施する。

事業種別	金額 (千円)	実施地域
小型動力ポンプ付積載車購入費	28,307	・更新4台 (中仙2台、太田2台)
消防団格納庫解体工事費	594	・解体3棟 (協和3棟)
水防倉庫解体工事費	361	・解体2棟 (大曲1棟、神岡1棟)

事 業 説 明 書

9 款 1 項 4 目 11 事業

(施策の大綱)安全・安心体制の充実

(施策)消防、防災の充実

(基本事業)水害対策への対応

継続

課所名： 総務部 総合防災課

『事業名』 **水害対策費**

【R3年度】 11,158 千円 【R2年度】 13,685 千円 【増減額】 △ 2,527 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
228				10,930

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

水害による被害を軽減するため、常設排水ポンプの設置や可搬式ポンプの配備など、内水処理対策の整備及び修繕等を実施する。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

平成23年6月に発生した水害以降、年次計画に基づき丸子川流域への常設排水ポンプの設置や改修を実施してきた。また、平成29年7月の水害後は、さらに大曲地域へ毎分40tの排水能力を備えたポンプを増強したほか、土買川、檜岡川、沼館川などにも内水対策用の可搬式ポンプの配備を行うなど、市内全域で内水対策を講じている。さらに、ソフト面でも、職員や水門管理人、排水業者、関係機関を対象に「水防講習会」を実施するなど、減災に向けた取り組みを実施している。

【排水施設・設備の整備状況】

- ・常設排水ポンプ場 11箇所ポンプ17台(排水能力合計 毎分288t) ※R3.7月3箇所5台増設
- ・排水ポンプ車1台(毎分60t) ※R3.8月配備予定
- ・可搬式水中ポンプ8インチ 19台(排水能力合計 毎分76t)
- ・可搬式エンジンポンプ6インチ1台、4インチ12台(排水能力合計 毎分14t) ※4インチ2台追加
- ・可搬式エンジンポンプ(業者借上)8インチ17台、6インチ13台(排水能力合計 毎分94t)

3. C h e c k (評価：問題と課題)

日本各地で毎年のように発生している甚大な水害被害の状況を見ると、堤防の整備だけでは防ぎきれない水害が必ず発生することは明らかである。今後、国・県などの関係機関のほか、他の自治体とも連携し、築堤や浚渫、調整池、遊水池、排水ポンプ、田んぼダムなど、河川の上流・中流・下流域でそれぞれの状況に合わせた最善の対策を講じていく必要があるとともに、広域避難などソフト面でも新たな対策を講ずる必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

◆排水ポンプ車関連経費 …3,323千円

令和3年7月納入予定の排水ポンプ車の水害時の排水作業のほか、平時の保管やメンテナンス、車検などの維持管理を一括し委託する。

◆常設排水ポンプ・可搬式排水ポンプ関連経費 …5,939千円

既設の常設排水ポンプ11箇所、可搬式排水ポンプ12台の電気料や点検・維持管理に要する経費。

- ・常設排水ポンプ関連経費(電気料、保安管理料) …5,064千円
- ・可搬式排水ポンプ関連経費(点検料、消耗品) …188千円
- ・可搬式エンジンポンプ2台購入経費(仙北地域) …687千円

◆雨水流量調査業務委託(花館地域) …1,353千円

浸水被害の常習区域となっている大曲丸の内町、幸町、朝日町アンダーパスなど井戸堰流域について、上流部で流水経路の改良などを検証するため流量調査を実施する。

◆その他水害関連経費 …543千円

- ・水門等管理人年報償費 …352千円
- ・船舶関係点検・検査関係費用 …93千円 他

事業説明書

9 款 1 項 5 目 10 事業

(施策の大綱) 安全・安心体制の充実

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 避難勧告等に関する体制整備

拡充

課所名： 総務部 総合防災課

『事業名』 防災対策費

【R3年度】 15,214 千円 【R2年度】 7,985 千円 【増減額】 7,229 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,071				11,143

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

大仙市地域防災計画に基づき、大規模災害に対処するため、総合的かつ計画的な防災対策を行い、市民の生命、身体及び財産を保護すると共に被害を最小限に抑える。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

東日本大震災や近年多発する大雨災害の教訓を生かし、地域防災計画を平成25年度の全面的改正から、法改正などに対応しながら毎年改訂を行い、市民が安全に暮らせるまちづくりを進めてきた。また、災害時の地域応援職員の指定や、情報伝達手段の多重化、Jアラートなど防災情報に関するシステムの整備、災害備蓄品の確保など、防災体制の充実強化を図ってきた。

3. Check (評価：問題と課題)

今後も国・県の被害想定の見直しに伴い、ハザードマップの更新が必要となる。また、国のマイナンバーカードの普及促進に合わせ、災害に関する手続きについても、マイナポータルの活用など、市民の利便性が向上する申請・発行体制の整備が必要である。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

◆ハザードマップ関連経費 …8,212千円

県管理河川の浸水想定見直しの完了や、土砂災害に関する調査が市内全地域で実施されたことを受け、新たなハザードマップを作成し、全戸配布を実施する。また、WEB版も作成し、市のHPで公開する。 【特財】社会資本整備総合交付金 4,071千円

◆防災システム関連経費 …1,478千円

- ・ Jアラート受信設備年間保守及び自動起動装置保守 564,520円
- ・ 防災ネットだいせんシステムサポート料 660,000円
- ・ ゼンリンシステム使用料 253,000円

◆災害備蓄品等購入経費 …831千円

県の共同備蓄指定品目について、常に目標数量を維持できるよう、定期的に一定数量を購入する。また、令和元年6月に導入した液体ミルク等の備蓄についても、引き続き購入し更新していく。

購入品目：アルファ米(2,500食)、液体ミルク、使い捨て哺乳瓶

◆災害対策費用保険 …2,259千円 ※「R2.7.27大雨災害」での保険支給金額 3,000千円

避難指示・避難勧告等を発令した災害において、避難所の設置や食料・飲料の提供等にかかる費用に対し、1災害あたり最大3,000千円の保険金が支給される。

※年間支払限度額 15,000千円

◆その他防災関連経費 …2,434千円